

解析対象者総数

10,017

OR=1.36

Osetamivir 使用者

7,813 (78.0%)

Osetamivir 非使用者

2,204 (22.0%)

異常行動あり

1,215 (15.6%)

異常行動あり

262 (11.9%)

解析対象者総数

10,017

Osetamivir 使用者

7,813 (78.0%)

Osetamivir 非使用者

2,204 (22.0%)

異常行動あり

1,215 (15.6%)

異常行動あり

262 (11.9%)

異常行動発現後に服薬

280 (23.0%)

・服薬後に異常行動発現(720)  
・時間的前後関係不明(215)

935 (77.0%)

解析対象者総数

10,017

OR=1.36 → 0.51

Oseltamivir 使用者

7,813 → 7,533

Oseltamivir 非使用者

2,204 → 2,484

異常行動あり

1,215 → 935

異常行動あり

262 → 542

・服薬後に異常行動発現 (720)  
・時間的前後関係不明 (215)

935

13

解析対象者総数

10,017

Oseltamivir 使用者

7,813 (78.0%)

Oseltamivir 非使用者

2,204 (22.0%)

異常行動あり

1,215 (15.6%)

異常行動あり

262 (11.9%)

異常行動発現後に服薬  
280 (23.0%)

・服薬後に異常行動発現 (720)  
・時間的前後関係不明 (215)  
935 (77.0%)

受診前に異常行動発現  
181 (64.6%)

受診前に異常行動発現  
46 (4.9%)

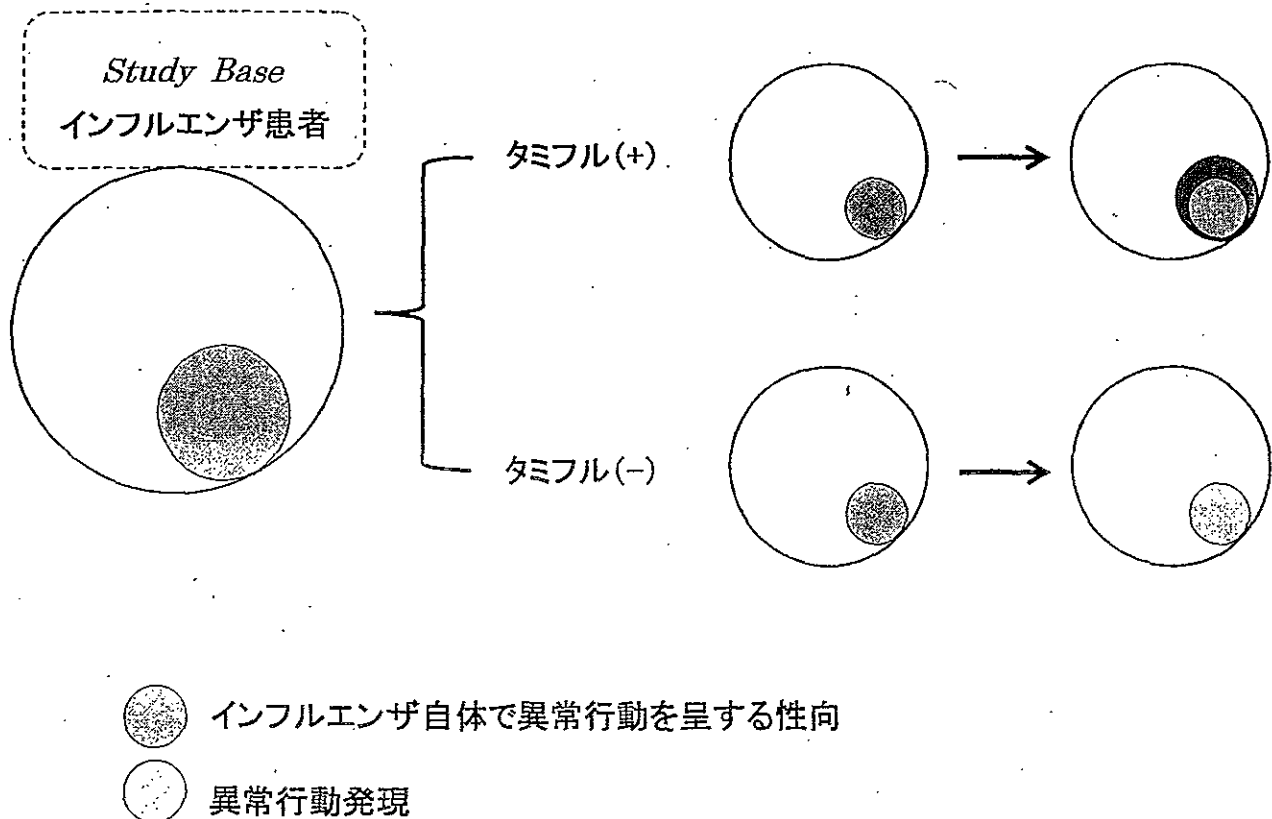
受診前に異常行動発現  
75 (28.6%)

14

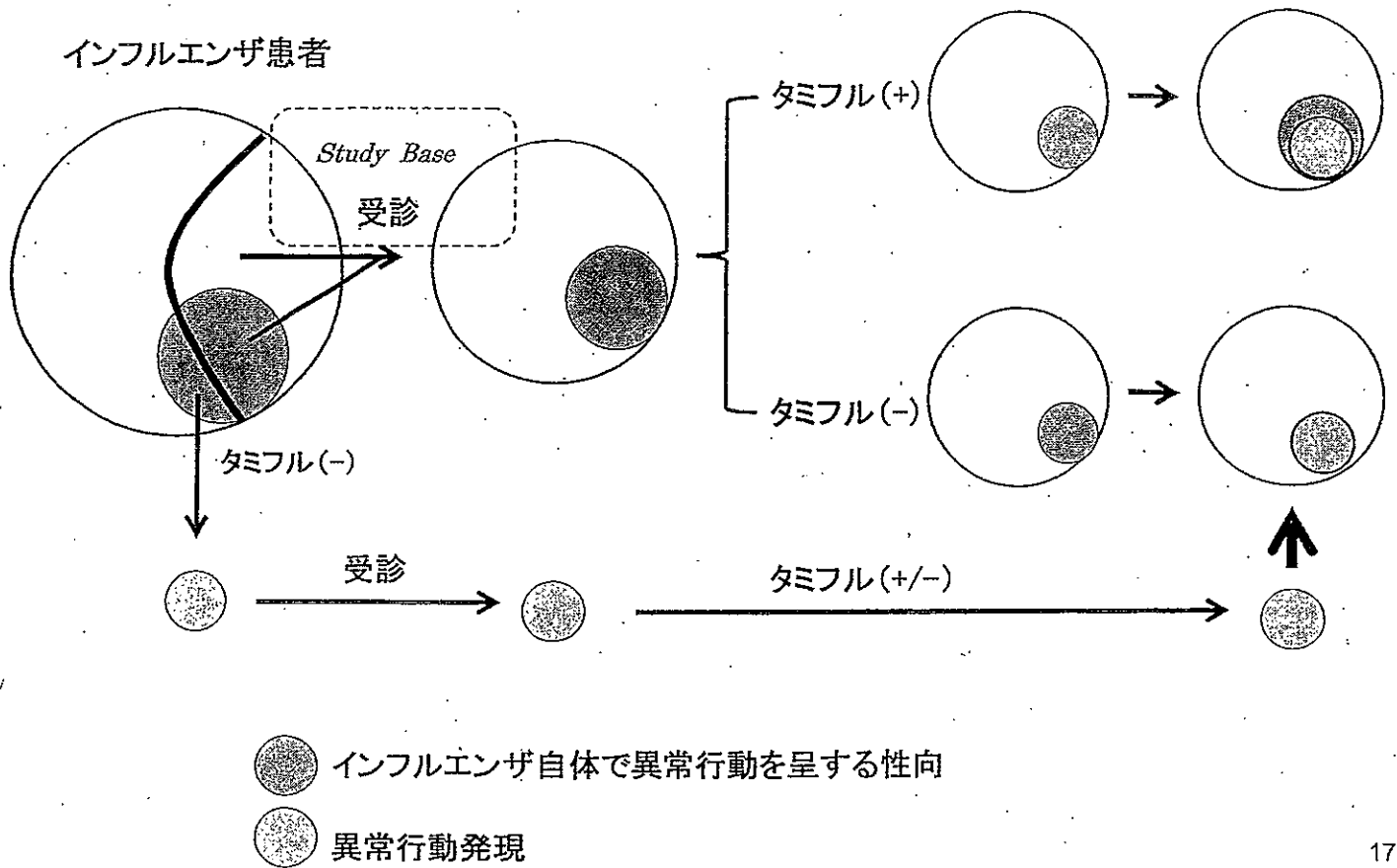
# 報告内容

1. 平成 17・18 年度横田班の調査
2. 平成 19・20 年度現研究班  
データベース作成、および解析開始
3. Selection bias と解析の枠組み
4. 小児科医による自由記載欄の精査
5. 解析実施、および結果
6. 結論と考察、結語

15



16



17

### 異常行動を発現後に受診した症例の除外理由

#### 1. 本研究の“study base”に含まれない可能性

(インフルエンザ自体の症状では受診しなかった、  
異常行動が起こったから受診した)

#### 2. 通常、前向きコホート研究では、対象の登録前 に outcome を発生した症例は除外する

18